

産地直送便



発行(農)山形おきたま産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net>
2017.3.1 発行 責任者 島崎栄一

第 20 回定期総会

去る2月18日に、農事組合法人 山形おきたま産直センター第20回定期総会が開催されました。

例年、総会前に行っている農業情勢学習会では、講師に農林水産省生産局農産部農業環境対策課係長の竹内和也氏を迎え「オーガニック・エコ農業の今後の展開」と題してご講演を頂きました。

新体制でのスタートとなった今年度、役員と組合員、職員の力を合わせ乗り切る事が出来ました。

総会では、新たな取り組みの成果や新組合員の加入など、今後の農産物栽培の拡大に繋がる報告がされました。果樹部会からは、4月の凍霜害によりさくらんぼとりんごに多大な被害を受け、消費者の皆様へ山形特産さくらんぼをお届けする事が出来なかった旨の報告もありました。個々の技術向上のため繰り返し学習会や検討会を行い、組合員が一致団結しより良い農産物栽培を前進させるために頑張る事が出来た1年となりました。

環境にやさしい栽培方法(JAS 有機栽培、特別栽培)にこだわって育てた山形の美味しいお米、寒暖差の厳しい環境で育った美味しい果物、採れたて野菜をその日のうちに発送する BOX など、届くのを楽しみにして頂いている消費者の皆様あつての山形おきたま産直センターです。

安心して食べて頂ける農産物の生産、環境に配慮した農業を目指し、気持ちも新たに組合員、職員一同、力を合わせ新年度も皆様に愛される山形おきたま産直センターを目指し頑張っ
てまいります。

今後とも引き続き、ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。



せん定講習会

果樹部会副部会長 渡沢 寿

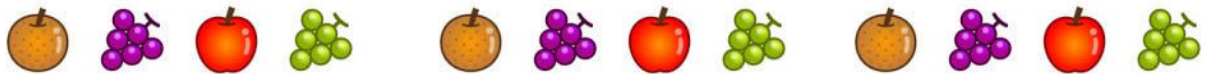
せん定は正式には「整枝剪定」といい、樹の形を整える「整枝」作業と、細かな枝を切りそろえる「剪(せん)定」作業の2つに分けることができます。果樹栽培の中では必須作業であり最重要技術でもあります。



樹が休眠する冬の時期に行う作業なので講習会もこの時期に行うのですが...

今年はすさまじい吹雪!講師の先生をお呼びしているし、組合員も集まっているので中止にするわけにもいかず...

写真では寒さが伝わらないと思いますが、目も開けられないような猛吹雪でした。



果樹部会総会

果樹部会部会長 近野 肇

2月2日、毎年恒例の果樹部会の全体会を開催しました。日中はさくらんぼとラフランスの剪定講習会、夕方からは防除の検討会と果樹部会の総会、その後講師の方々を交えての懇親会と丸一日かけての勉強会になります。剪定は果樹栽培の基本になるもので、若手だけでなくベテランも参加します。

また、防除に関しては近年の病気・害虫の状況をもとに薬剤の変更などを検討します。特にデラウェアは特別栽培に取り組んでおり、県の基準の半分しか防除できないので、慎重に話し合われます。去年は、4月の凍霜害でさくらんぼとリンゴが多大な被害を受けてしまいました。

今年は、全品目が無事に収穫できるといいですね。



産直米変更連絡用紙

山形おきたま産直センター行き→FAX 0238-47-7318

お休みや重量変更などのご連絡は、お届け日の10日前まで受付。

急な変更等是对应出来ない場合がございます。早めのご連絡をよろしくお願い致します。

お客様 NO _____ (納品請求書の左上 5桁のNO) FAX 送信日 月 日

氏名 _____ 様 電話 _____

お休み連絡 月 日お届け分のみお休み
月～ 月までお休み

変更連絡 月 日お届け分の変更
～変更内容～

